



ぶどう特報 #3



2023年4月17日
JA 中野市園芸課
JA 中野市ぶどう部会

生育の前進に伴い、病害の早期感染や越冬害虫の発生も早くなる恐れがあります。生育状況を良く確認し、防除散布遅れのないように計画的に進めてください。（昨年はクビアカスカシバの発生が多く、越冬数も多いと思われます）

年度	巨峰発芽	シャイン発芽	巨峰開花	シャイン開花	特記
平年	4/26	4/30	6/5	6/10	過去10年平均値 (H24~R3)
2022 (R4)	4/25	4/28	6/10	6/15	生育停滞により最も遅い開花 例年比+5。
2023 (R5)	4/15頃	4/18頃	5/25頃	6/1頃	平年比-10日予想。

【特別散布（共通）樹幹塗布 コナカイガラムシ類対策】

散布時期	4月下旬		散布日：4月 日 散布量： リットル
散布薬剤	水 20 ml アルバリン顆粒水溶剤 20 g（幼果期まで・1回） ※ 水：アルバリン = 1：1 で調合		
散布量	1樹あたり 20~40 ml *目安：直径10 cm以上の樹で薬液 20 ml、直径20 cm以上の樹で薬液 40 ml		
適用病害虫	コナカイガラムシ類・クビアカスカシバ		
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 主幹分岐部下 30~50 cm程度粗皮削りし塗布する。 ガットサイドS（原液~1.5倍液）を塗布した場合はアルバリン顆粒水溶剤を右図の位置に塗布する。 *注意：重ね塗りしない・混用して塗り付けない ハケを立てて泡を立てるように塗る。 *毛先を寝かせて塗ると薬液が流れやすい。 晴天日が塗布後に数日続く日をねらって実施する。 *流亡防止 		<p>アルバリンとガットサイド併用方法</p>

【第2回 定期散布 *対象：シャインマスカット・クイーンルージュ®等】



散布時期	発芽直後（4月下旬） *生育状況を確認して散布		散布日：4月 日 散布量： リットル
散布薬剤	水 100ℓ 展着剤（ハイテンパワー） 10 ml 劇モスピラン顆粒水溶剤 50g（14日前・3回）		
散布量	300ℓ/10a		
適用病害虫	ツマグロアオカスカミカメ・カイガラムシ類		
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 訪花昆虫保護のため、早朝の散布を厳守する。 被害が多い場合はモスピラン顆粒水溶剤に代えてスミチオン水和剤 40 の1,000倍(21日前、2回)を散布する。尚、スミチオン水和剤 40 を散布する場合は、訪花昆虫保護のため開花期を迎えている隣接園への飛散防止対策（防風ネット設置・下草刈り等）を講じ、早朝散布を厳守する。 散布適期：園内の3割程度が右写真の状態に到達した頃 ⇒ 		

※栽培日誌の配布があるまでは、ぶどう特報に散布日・散布量を記録し、保管するようにお願いします。

裏面もお読みください。展葉3枚目頃の定期散布記載

【4月下旬の特別散布 *対象：巨峰・ナガノパープル等】

【5月初旬 第3回 定期散布 *対象：シャインマスカット・クイーンルージュ®等】

散布時期	展葉3枚目頃 *生育状況を確認して散布	(特)巨峰・ナガノパープル等
散布薬剤	水 100ℓ	散布日：__月__日
	展着剤 (ハイテンパワー) 10 ml トレノックスフロアブル 100 ml (60日前・2回)	散布量：__リットル
散布量	300ℓ/10a	(定)シャインマスカット・クイーンルージュ®等
適用病害虫	黒とう病、べと病、晩腐病	散布日：__月__日
注意事項	カイガラムシ類対策：発生が多い場合は(劇)ダイアジノン水和剤34の1,000倍(30日前、2回)を加用する。	散布量：__リットル
	散布適期：園内の3割程度が右写真の状態に到達した頃 ⇒	
		

※栽培日誌の配布があるまでは、ぶどう特報に散布日・散布量を記録し、保管するようにお願いします。

◆ 短梢栽培の芽かきについて

1. 目的 「芽かきはその年の生産量を決める大切な作業」

- ◆ 主芽・副芽の整理
- ◆ 樹全体の新梢の生育を揃える⇒今後の管理(特にジベ処理)が揃うようにする⇒収穫時期が揃いやすい
- ◆ 貯蔵養分を効率よく新梢に流す
- ◆ 花穂の有り無し、房型等を見極める
- ◆ 新梢の本数を整理し、園地の明るさを保つ

2. 時期

- ◆ 発芽後～展葉初期(5月上旬頃)
- ◆ 展葉3～5枚目頃(5月中旬頃)
- ◆ 誘引時

生育段階に合わせて複数回に分けて芽かき作業に入ることが生育を揃えるポイント!



↑ シャインマスカット短梢栽培展葉5～6枚目

3. ポイント

- ◆ 生育状況(枝ぶり・花穂の有無など)を確認しながら適宜実施する
- ◆ 新梢の間隔は20cmに1芽座、1新梢を目安とする
- ◆ できるだけ主枝に近い芽を残すことを意識して実施する

例年に比べ気温が高い日が続き、春先の土壌乾燥が心配されます。こまめなかん水をお願いします。

特報#4 予定：5/1(月)展葉6枚目の定期散布記載他